

涼やか浴衣で お点前を披露

県立大茶道部七夕茶会

会場には短冊をつるしたササが飾られ、涼やかな浴衣姿の部員が、いすに座って茶をたてる立礼式でお点前を披露。訪れた学生らは、箏曲部員が奏でる優雅な調べが響く中、ゆったりとした気持ちで日本の伝統文化に触れた。

県立大(総社市窪木)で5日、同大茶道部による「七夕茶会」が開かれ、学生や教職員が部員のお点前と馥郁とした香りを満喫した。

茶道部副部長の保健福祉学部2年向井裕紀子さん(19)は「季節を感じられるのが茶道の魅力。多くの人に楽しんでもらえた」と話していた。

同茶会は、学内向けに毎年七夕(7日)の前後に開催。茶道裏千家教授の小林秀子さん(68)が1993年の開学以来、同部を指導している。

(古川和宏)



涼やかな浴衣姿の部員がお点前を披露した七夕茶会